

## 「キリストの福音にふさわしく」 ピリピ1：27～30

I キリストの福音にふさわしく生活するために必要な事→キリストの福音を知り続け、キリストの恵みを味わい続ける事。1. キリストの福音とは：神が私達を大きな愛で愛し、大切なひとり子、御子イエス・キリストを救い主として、この世に遣わされた（クリスマス）・御子キリストが私達を愛して私達の罪の為に十字架で死に、私達の罪を償い、三日目によみがえられた・その御子キリストを信じる者は、滅びることなく、永遠の命をいただいて永遠に素晴らしい神に愛され神と深く交わる事ができるという良き知らせ。2. 主を信じ洗礼を受け、それで終了ではなく、それから日々、ますます、御言葉を味わい、主と共に歩みつつ、神の愛の大きさ、キリストの恵みの深さ、御聖霊との交わり、主の聖さ、愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるか知り続けるように祈り、感謝する。

II 「ただ一つ。キリストの福音にふさわしく生活しなさい」：27。生きておられるキリスト、福音は、私達の生活を変えて下さる。1. 主に遣わされた家庭、職場、学校、色々な所で、キリストを信じ救われた者、罪赦された者、神に愛されている者として生活する。2. 生けるキリストが教会、私達の家庭、職場、学校に共にいて下さる事を認め自覚し、キリストにふさわしくキリストが喜ばれる事を祈り求めながら歩む。「主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい」（エペソ5：10）。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。…見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」（マタイ28：18－20）。3. 主は、御自身を信じる私達の心の中に、そして、そばにおられる。この主に、御心を伺いながら歩む。「神のうちにとどまっていると言う者は、自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません」（Iヨハネ2：6）。4. キリストの福音にふさわしく生活することで、素晴らしい主を証しする。5. 主にあって一致して歩む。キリストの福音が目指しているもの→「父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおられるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです」（ヨハネ17：21）。「平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい」（エペソ4：3）。あの人につく、この人につくという人間的な一致ではなく、御霊によって主を中心とした一致。

III 「そうすれば、私が行ってあなたがたに会うにしても、また離れているにしても、私はあなたがたについて、こう聞くことができるでしょう。あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘しており、また、どんなことがあっても、反対者たちに驚かされることはない」と：27, 28。私達は、戦うべき真の敵を見誤ってはならない。真の敵である悪魔は、自分を隠し、目に見える人々と争わせようとする。誤解や影口や悪口を通して。だから目を覚まして霊的な武具（御言葉・信仰・祈り。エペソ6：10－20）を身に着け祈りたい。主の愛で互いに赦し合い、愛し合い、霊を一つにし、しっかりと立ち、心を一つにし、福音の為に共に奮闘することができるように。「また、どんなことがあっても、反対者たちに驚かされる（おどかされる、恐れる、おびえる）こと」がないように。主に従う時、いつでも反対者はいる事を自覚したい。いつの時代も。どこでも。「も

し人々がわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害します」(ヨハネ15:21)。しかし失望してはならない。「あなたがたは世にあっては患難があります(「労苦はその日その日に、十分あります」マタイ6:34)。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです」(16:33)。勝利者である主が、患難の中にいる私達と共におられる！力強い！「それ(反対や迫害)は、彼ら(反対者、迫害者)にとっては、滅び(神のさばきを受ける)のしるしであり、あなたがたにとっては救いのしるし(迫害されることは、真に救われているしるし、主の本物の弟子とされているしるし)です」:28。「これは神から出たことです」:28。ピリピ人の救いや反対者達のすべての状況は、神から出た事。神は、昔も今もすべてを支配し、すべてのことを働かせて益(私達の主の姿への成長、御業の前進)とされる。「あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜ったのです」:29。主を信じる信仰も神が私達に下さった賜物。感謝！私達は自分の力で信じたのではない。また神は、私達に主の為の苦しみも下さった。その目的は→①主の苦しみにあずかる、主の足跡に従う(Iペテロ2:21)弟子のしるし、主の苦しみと主ご自身を深く知る。②もはや自分を頼まず、神に抛り頼む者とする為(IIコリ1:9)。③神が私達を愛される故の訓練→ご自身の聖さにあずからせる、主の姿に成長させる。ヘブル12章。④苦しみの中にある人々を深く思いやる者とする(ヘブ13:3)。反対、迫害、苦しみを受けているのは、あなただけではない。まず主が、私達の為に苦しみを受けられた。使徒たちも、パウロも(主の為の苦しみ、殉教)「あなたがたは、私について先に見たこと、また、私についていま聞いているのと同じ戦いを経験しているのです」:30。この2012年間、主に忠実な人々は、主の為の苦しみ、迫害を受けて来た。今も世界中で。表に出ていない所でも。苦しみは、無意味なもの、神から見放されているものではない。神は私達を愛し、主を信じる信仰を与え救い、苦しみをも支配し与え、すべての事を働かせて益(悔い改め、救い、主の姿への成長、苦しんで下さった主の苦しみ、深い愛を知る、主ご自身を深く知る、苦しみの中にある人々を思いやる)としてくださる。